

25 スマート農業総合推進対策事業

【令和3年度予算概算決定額 1,359（1,500）百万円】
（令和2年度第3次補正予算額 6,200百万円の内数）

<対策のポイント>

スマート農業の社会実装を加速するため、先端技術の現場への導入・実証や、地域での戦略づくり、科学的データに基づく土づくり、教育の推進、農業データ連携基盤（WAGRI）の活用促進等の環境整備の取組を支援します。

<政策目標>

農業の担い手のほぼ全てがデータを活用した農業を実践〔令和7年まで〕

<事業の内容>

1. スマート農業加速化実証プロジェクト

先端技術を活用したスマート農業技術を生産現場に導入し、テーマに基づく現場実証や情報提供・経営分析等を実施します。

2. スマート農業普及のための環境整備

- ① 農林水産データ管理・活用基盤強化
農業データの連携・共有やWAGRI活用促進のための環境整備を支援します。
- ② 農林水産業におけるロボット技術安全性確保策検討
ロボット農機の現場導入に向けた、安全性確保のルールづくり等を支援します。
- ③ 次世代につなぐ営農体系確立支援
新たな営農体系の戦略づくり、データ駆動型農業の実践・展開を支援します。
- ④ データ駆動型土づくり推進
科学的データに基づく土づくりのため土壌診断データベースの構築等を支援します。
- ⑤ スマート農業教育推進
農業大学校等の授業で活用できる教育コンテンツ提供等を実施します。
- ⑥ スマートグリーンハウス先駆的開拓推進
国内外を問わず、スマート技術も駆使した施設園芸の先駆的開拓を支援します。

<事業の流れ>

国

交付（定額）
委託
定額
定額、1/2
定額

（国研）農業・食品産業技術総合研究機構

民間団体等

民間団体等

民間団体等

都道府県

委託

（1の事業）

（2⑤の事業）

（2①②③⑥の事業）

（2④の事業）

定額、1/2

協議会

（2③の事業）

<事業イメージ>

スマート農業加速化実証プロジェクト

AI解析による可変防除

ローカル5Gを活用した遠隔営農指導

迅速な生育センシング

ロボット技術の安全性確保

リスクアセスメントの実施

安全性確保ガイドライン

ガイドライン等へ反映

科学的データに基づく土づくりの推進

生物性評価の検証

土壌診断の実施とデータベース構築

スマート農業教育の推進

共通カリキュラム作成

農業データの活用促進

農機

データ連携に向けた環境整備

営農管理ソフト

WAGRI

産地の戦略・体制づくり

農業者

民間企業

自治体

普及組織

その他関係機関

スマートグリーンハウス先駆的開拓推進

我が国の優れた施設園芸の技術

スマート農業技術の進展

施設園芸の先駆的開拓

スマート農業の社会実装・実践

【お問い合わせ先】 農林水産技術会議事務局研究推進課（03-3502-7462）